

レースにあたっての審判上の諸注意

今大会は、日本ローイング協会 競漕規則（2024/4 版）及び大会要項に基づいてレースを運営しますが、以下の諸注意や追加の適応事項を守りレースに挑んでください。

1.健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態で開催に参加できるように心がけてください。特に感染症（コロナ・インフルエンザ・はしか等）の対策（手洗いや消毒など）は各自で十分に行ってください。体調不良の場合は、最寄りの審判員、もしくは役員に申し出るなり大艇庫内の救護所を利用してください。

2.事故防止と安全確保について

- ①各クルー、参加者は常に安全確保に努め、安全第一で行動してください。安全については、各クルーがまず自主的に対策を十分に施してください。
- ②レース前の練習については、航行ルールを守り、周囲の安全確認の上、注意して行ってください。決められた水域以外には行かないこと。また気象の変化や風、波等に注意し、大会本部役員から指示があれば、これに従ってください。
- ③スタート地点への回漕中、レース艇が来た時は必ず 100m 手前で止まり、レース艇が通過するのを待ってください。これに違反すると、イエローカードを与えます。
- ④レース中クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合もしくはそれが予想場合、レースを中止することがあります。クルーの安全を第一に考えたレース運営を行うことを理解しておいてください。

3.各種手続き（届け出）について

- ①棄権、メンバー変更、ブレード変更の手続きは（届け出）は、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手続きに沿って行ってください。
シート変更（漕手間の変更）については事前に届へ出る必要はありません。監視の際に申し出てください。

4.監視と舵手計量について

- ①監視は出艇桟橋で行います。ユニフォーム・ストレッチャー・デッドウエイト・オールブレードなど、監視を受けずに出艇は、出来ません。
- ②舵手計量は、毎日、出艇するレースの 2 時間前から 1 時間前までに舵手計量所（大艇庫内右側衝立の裏側）で行います。ユニフォームのみで行います。
この件に関しては呼び出しや放送は行いませんので、各クルーは十分に注意してください。

5.ユニフォームの統一について

- ①各クルーとも統一したユニフォームを着用し、不揃いな服装をして出漕してはいけません。アンダーシャツ、タイツ、靴下等も統一してください。統一されたユニフォーム同じ服装とは（外見が全く同じもの）ということですから、特に色褪せ、迷彩模様、幾何学模様等の服装は注意してください。また個人名・イニシャルやポジション名の記載等は認められません。舵手のみ統一したユニフォーム、服装に加えて、悪天候で防寒具としてレインウェアの着用を認めますが、ユニフォームの上に着用してください。
- ②帽子・はち巻きについては着用するものと着用しないものがあっても可とします。但し、着用する場合は漕手・舵手とも同じものを着用しなければなりません。

6.コースへの侵入について

前のレースがスタートし、100m を通過し、スタートエリアの安全が確認されたのち発艇員は次のレースのクルーをコースへ呼び込みます。その呼び込みをうけてから、指示されたレーンにすみやかに侵入してください。

7.発艇定刻の厳守と発艇について

- ①出漕クルーは発艇定刻2分前までに所定の発艇位置（ステイクボード）に着かなければなりません。これに遅れた場合はイエローカードが与えられます。艇の故障などで定刻に間に合わない場合、必ず最寄りの審判員に申し出て、審判長の許可をうけてください。許可なく遅れ、レースに参加できなかったクルーはDNS となり、以後の全ラウンドに出漕できません。尚、審判員に申し出たとしても発艇定刻2分前に遅れて発艇定刻を遅らせた場合はイエローカードが与えられます。
- ②発艇定刻2分前になったら、いつでも発艇できるように準備し、各クルーの責任で進行方向を定めておいてください。風・波等の状況により、クイックスタートでスタートする場合があります。

8.レース中の注意について

- ①スタート直後を含め、レース中に艇の故障およびオールの損傷等が生じた場合でも特別な措置（再レースなどの救済措置）はありません。故障或不具合が生じないように十分に点検をしておいてください。（修理用棧橋はありません）
- ②すべてのクルーは自己のレーンを進行し、他のレーンを侵害、もしくは他艇を妨害してはなりません。レース中主審は障害物の出現や他のレーンに侵入して他艇と接触・衝突等の危険が切迫しているクルー及びレース中の艇の故障やオールの損傷により自艇を著しく損傷させる恐れがあるクルーに対し、レース状況によっては白旗を揚げ（〇〇止まれ）等のコールをし、当該クルーのみ競漕を一時中断させることがあります。この場合、主審の指示に従い、危険を回避し、安全を確保したうえで、競漕に復帰してください。
- ③主審艇がレース状況により、極端に遅れたクルーを追い越すことがあります。この

場合追い越されたクルーは波をかぶることがありますが容赦してください。

9.レース中の転覆・選手の落水について

- ①シングルスカルの手が落水した場合、またダブルスカル艇、クォードルプル艇が落水した場合、危険を判断し即座に救助します。この場合DNF（途中棄権）となりますが、本大会ルールにより予選のみの落水は敗者復活戦に挑むことができます。それ以外はレース終了となります。安全第一、人命優先ですので、ご了解ください。

10.指揮・警告・除外とその取扱いについて

- ①クルーが違反・不正行為を行った場合、指導や警告（注意・イエローカード・レッドカード）が与えられます。イエローカードは当該クルーの次のレースの終了まで持ち越されます。また、イエローカードが2回与えられるとレッドカード（除外）となります。

11.レース終了後について

- ①決勝戦を通過したクルーは、全クルーが決勝戦を通過したのちに主審が旗を揚げるまでは待機しておいてください。尚、主審はフィニッシュライン手前の位置にいても旗を揚げる場合がありますから、注意しておいてください。
- ②レースに対する異議がある場合は、主審が旗を揚げる前に手を挙げて、主審に申し出てください。主審から白旗が揚げた場合はレース成立を意味するので、そのまま帰る艇棧橋に戻ってください。しかし赤旗が揚げた場合は、レースに何かの問題があったことを示しますから、その場に留まって主審の指示を待つようにしてください。

12.その他

無線通信機器（携帯電話・スマホトランシーバ等の外部と交信できるもの）の艇内の持ち込みは禁止で、失格となりますが、許可データ（タイム、ストロークレート、艇速/加速度、心拍数）を収集するためにその機能を要する機器や装置（機能を要する携帯電話、スマホを含む）持ち込むことは可とします。（但し事前に競漕委員会に許可を頂いたクルーのみとします。）それを用いて、レース中（出艇時から帰艇時まで）それ以外は失格とします。